



Answer Key

解答・解説

Class _____ No. _____ Name _____

Reading Check

1. B 2. A 3. C 4. D 5. B 6. C 7. A 8. B

True or False: 1. T 2. F 3. T 4. F 5. T 6. F

Match

= chocolate = rose = letter = arrow = gift = ring = bird = strawberry

Unscramble

1. CUPID 2. HEART 3. SAINT 4. POEM 5. GIFT 6. LEGEND

Fill in the blanks

(1) February (2) chocolate (3) candy (4) Day (5) sad (6) friends (7) restaurant (8) noodles (9) smile (10) card

Sentence order

1. Valentine's Day is on February 14.
2. Children give small cards to their classmates.
3. Women traditionally give chocolate to men in Japan.
4. The birds choose their partners in the poem.
5. People give gifts back on White Day.

Secret Code

BE MY VALENTINE (わたしのバレンタインになって)

Maze — Secret word

CUPID

解説 (Reading Check)

1. B 第2・3段落で歴史、第4・5段落でアメリカと日本のちがいを説明しています。祝日だとはどこにも書かれておらず、チョコーサーが書いたのはチョコではなく詩です。
2. A 第1段落に only three chocolate bars and one card とあります。数を入れかえた選択肢に注意。
3. C 第3段落に In the 1380s とあります。3世紀は聖バレンタインが亡くなったころ、1958年は日本のセールの年です。
4. D 第3段落に the birds choose their partners on Saint Valentine's Day とあり、これが「愛の日」の始まりになりました。
5. B 本文で legends, or old stories that may not be true と言いかえています。or のあとが説明になっている形です。
6. C 第4段落に Children often give small cards to every classmate とあります。アメリカでは男女とも贈り、本当に好きな人へは本命チョコ、ホワイトデーは3月14日です。
7. A 1958年にはほとんど売れなかったのに、今は店がチョコでいっぱい、友チョコや自分用のチョコも生まれました。日本の形がローマで始まったとは書かれていません。
8. B 最後に I'll make some for you, too. と言っています。30個作ったのはハルトの妹です。



和訳（問題文）

- T/F 1. バレンタインデーはいつも2月14日だ。（正：日付は毎年同じ）
- T/F 2. バレンタインデーはアメリカの祝日だ。（誤：学校も会社もふつうにある）
- T/F 3. チョーサーは鳥と聖バレンタインの日の詩を書いた。（正）
- T/F 4. アメリカでは女性だけがバレンタインの贈り物をする。（誤：男女とも贈る）
- T/F 5. 日本では3月14日にお返しをする。（正：ホワイトデー）
- T/F 6. 1958年の日本最初のセールでは何千ものチョコが売れた。（誤：板チョコ3枚とカード1枚だけ）
- Unscramble 1. CUPID＝愛の神（弓矢を持つ）
- Unscramble 2. HEART＝ハート、心臓
- Unscramble 3. SAINT＝聖人
- Unscramble 4. POEM＝詩
- Unscramble 5. GIFT＝贈り物
- Unscramble 6. LEGEND＝伝説
- Order 1. バレンタインデーは2月14日です。
- Order 2. 子どもたちは同級生に小さなカードを配ります。
- Order 3. 日本では伝統的に女性が男性にチョコを贈ります。
- Order 4. その詩では鳥たちが相手を選びます。
- Order 5. 人々はホワイトデーにお返しをします。
- ... has made chocolate at home＝家でチョコを作ったことがある
- ... has given a card to a friend＝友だちにカードを渡したことがある
- ... likes dark chocolate＝ビターチョコが好き
- ... knows the date of White Day＝ホワイトデーの日付を知っている
- ... can say "I love you" in another language＝「愛してる」を英語以外の外国語で言える
- ... has a pet at home＝家でペットを飼っている
- ... likes strawberries＝イチゴが好き
- ... knows who Cupid is＝キューピッドが誰か知っている
- I want to give a Valentine's card to _____ because _____．＝私は_____にバレンタインカードを贈りたい。なぜなら_____だからです。
- Roses are red, violets are blue, _____, and so are you.＝「バラは赤い、スミレは青い」に続けて、自分だけの詩を作ろう。
- I think Japan's giri choco is _____ because _____．＝日本の義理チョコは_____だと思います。なぜなら_____だからです。

全訳（Reading）

1 1958年2月、あるチョコレート会社が、東京のデパートでバレンタインセールを開きました。3日間で売れたのは、板チョコ3枚とカード1枚だけでした。当時の日本では、この日を知っている人はほとんどいなかったのです。今では毎年2月、日本の店はチョコレートでいっぱいになります。

2 バレンタインデーは2月14日です。名前は、古代ローマのキリスト教徒、聖バレンタインから来ています。彼は信仰のために殺されました。おそらく3世紀のことです。彼については、恋の話がたくさん語られます。でもそのほとんどは伝説、つまり本当かどうかわからない昔話です。

3 この日が愛の日になったのは、ずっと後のことです。1380年代、イギリスの詩人ジェフリー・チョーサーが鳥の詩を書きました。その詩では、鳥たちが聖バレンタインの日に相手を選ぶのです。やがてイギリスやフランスの人々は、この日に恋の詩を贈るようになりました。現存する最も古いもののいくつかは、イギリスの牢屋にいたフランスの公爵が書いたものです。

4 アメリカでは、男性も女性も贈り物をします。恋人にカードや赤いバラ、チョコレートを贈ります。子どもたちは、よくクラス全員に小さなカードを配ります。犬や猫にプレゼントを買う人までいます！

5 日本はちがいます。日本では伝統的に、女性が男性にチョコレートを贈ります。本命チョコは、本当に好きな人へのチョコです。義理チョコは職場の仲間へのチョコで、「義理」は「おつきあいの務め」という意味です。今では多くの学生が友だちに友チョコを贈り、多くの大人が自分のためにチョコを買います。そして3月14日のホワイトデーに、お返しをします。

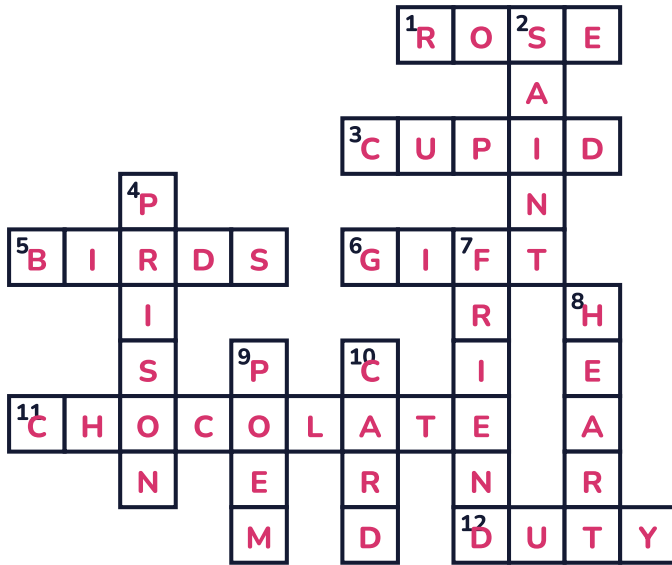


Answer Key (Puzzles)

解答 (パズル)

Class _____ No. _____ Name _____

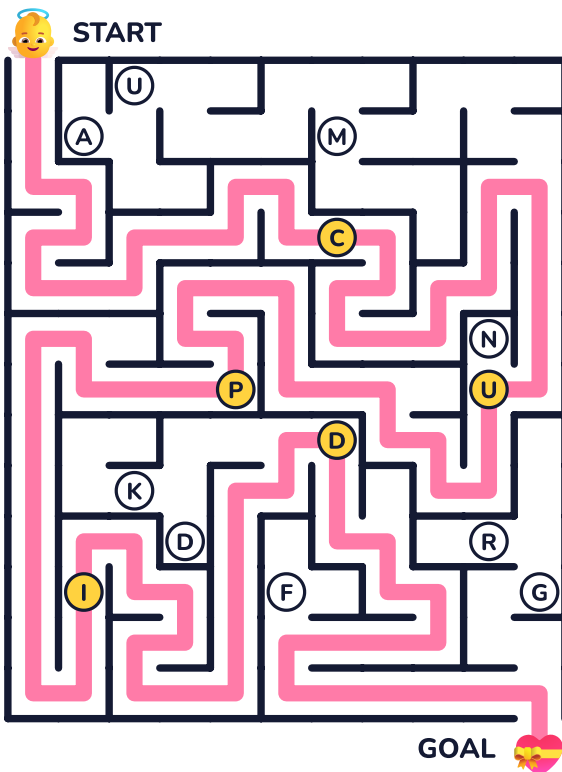
Crossword



Word Search



Maze





Answer Key (Advanced)

解答（発展セット）

Class _____ No. _____ Name _____

発展セット C1 : Comprehension

1. C 第2段落の marketing alone cannot explain why the custom survived と、第3段落最後の文 they last only when people find their own meaning in them が主旨です。1は本文にない内容、2は筆者の主張ではなく、4のブラジルが日本をまねたという記述もありません。
2. A 第1段落 Morozoff, a confectioner in Kobe, ran it in an English-language newspaper が根拠です。2のテレビ、4の雑誌は本文になく、3の百貨店は戦後に考えを広めた側として出てくるだけです。
3. D 第2段落 giri choco spread in the 1980s, when more women were working in offices, and it became a way to manage relationships at work が根拠です。2のゴディバは2018年に逆に「やめよう」と呼びかけた会社です。1と3は本文にありません。
4. B チョコを売る会社が「義理チョコをやめよう」と呼びかけたことは、売り上げが減るかもしれない内容なので意外だったと推測できます。1の英語の広告は1936年のモロゾフ、3は本文になく、4の最初の広告も1936年です。
5. A burden は「重荷、負担」。直後でゴディバが「義理チョコをやめよう」と呼びかけたことにつながるので、よくない意味の語だとわかります。2・3は前向きな意味で文脈に合わず、4は語の意味とちがいます。
6. D 第3段落は Japan is not unique in this respect. で始まり、ブラジルの恋人の日も広告から始まったといわれる例として挙げています。1〜3はどれも本文に書かれていません。

発展セット C2 : Vocabulary

- 1-h (confectioner=菓子メーカー、菓子職人) 2-a (advertisement=広告) 3-b (promote=宣伝する、広める) 4-c (confess=打ち明ける、告白する) 5-d (survive=生き残る、続いている) 6-e (relationship=人間関係、つながり) 7-f (burden=重荷、負担) 8-g (obligation=義務、義理)

Paraphrase (例)

1. People in Japan often say that chocolate companies made up Valentine's Day, and there is some truth in that.
2. But advertising is not the only reason the custom has continued.
3. Even if a company creates a holiday, it will continue only if people decide what it means to them, for example, giving gifts to friends or buying something nice for themselves.

Summary (例)

Japan's Valentine's chocolate custom began with a 1936 ad and was promoted by stores after the war. But marketing alone did not keep it alive. Giri choco spread with office life and later felt like a burden. As in Brazil, holidays started by businesses last only when people give them their own meaning.

Advanced Reading 全訳

- 1 多くの日本人が「バレンタインはチョコ会社が作った」と冗談を言いますが、それは半分当たっています。この日とチョコを結びつけた最初の広告は1936年、神戸の菓子店モロゾフが英字新聞に出したものでした。戦後、百貨店や菓子会社は「年に一度、女性が愛を告白できる日」という考えを売り込みました。
- 2 しかし、宣伝だけでは、この習慣が生き残った理由を説明できません。研究者は、義理チョコが女性の職場進出が進んだ1980年代に広まり、職場の人間関係を保つ手段になったと指摘しています。やがて多くの女性が負担に感じるようになり、2018年にはゴディバ・ジャパンが義理チョコをやめようと呼びかける新聞広告まで出しました。
- 3 この点で、日本だけが特別なわけではありません。ブラジルでも、6月12日の恋人の日は、1949年ごろ売り上げの少ない月を盛り上げるための広告キャンペーンから始まったといわれます。祝日は企業が始めることもありますが、長く続くのは、友だちへの贈り物や自分へのごほうびのように、人々がそこに自分なりの意味を見つけたときだけなのです。